

第 29 回 JOC 総務発第 296 号
平成 30 年 1 月 10 日

本会加盟団体

会長・専務理事・理事長 殿

公益財団法人 日本オリンピック委員会
会 長 竹 田 恆 和



選手、指導者等の責任ある行動と自覚について（お願い）

日頃から、本会事業に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、第 23 回オリンピック冬季競技大会（2018／平昌）の開催並びに 2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、国民のスポーツに関する関心の高まりと我々スポーツ界に対する期待がますます大きくなっている中、競技会中に他選手の飲み物に、世界アンチ・ドーピング規程で定める禁止物質を混入させる事例が発生しました。

オリンピック精神に反し、社会的秩序を乱す上記行為がおきたことは、極めて遺憾です。

つきましては、貴団体におかれましても選手、指導者はもとより、全ての関係者に対し、競技、日常生活の場にかかわらず、責任ある行動と自覚を持つよう、より一層教育と指導を徹底されるようお願いいたします。

以 上